



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9127 URL <https://www.tamaiship.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清崎 哲也  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 松本 和成（TEL）03-5439-0260  
 半期報告書提出予定日 2025年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,473	△11.0	54	△87.8	△23	—	3	△99.2
2025年3月期中間期	2,780	△18.9	445	29.6	448	1.5	367	18.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 91百万円（△73.0%） 2025年3月期中間期 339百万円（△18.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1.56	—
2025年3月期中間期	190.33	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	13,417	9,243	68.6
2025年3月期	12,647	9,306	73.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 9,199百万円 2025年3月期 9,263百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現在、配当方針の見直しを検討しております。新たな配当方針が決定次第、現在未定となっております配当予想と併せて速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△7.2	260	△70.7	180	△79.7	100	△95.2	51.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	1,932,000株	2025年3月期	1,932,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,874株	2025年3月期	1,849株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	1,930,140株	2025年3月期中間期	1,930,227株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績等の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績等の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、トランプ関税による景気下押し懸念が拡大する中、穏やかながらも世界経済は底堅い成長を維持しています。しかしながら、政府主導の景気刺激策をするも不動産不況が長期化している中国経済、地政学的混乱が続くウクライナや中東情勢等、多くの懸念材料を抱え依然として先行き不透明な状況が続いています。

日本経済は、米価をはじめ物価上昇の影響により消費者マインドに弱さが見られますが、人手不足を背景に大企業を中心にハイレベルでの賃金上昇が見られ、雇用環境の改善が継続、インバウンド需要の回復と個人消費にも支えられ、穏やかながらも景気回復が継続されました。

2025年7～9月期の外航ドライバルク船市況は、中国の粗鋼生産の回復、中国の南米産大豆の買い込み、堅調なマイナーバルクの荷動き、アジアの猛暑の影響による中国・日本・韓国・台湾の石炭輸入の増加により大きく上昇した3ヶ月でした。

今後の外航ドライバルク船市況の展望は、年末にかけて米中の関税合戦の煽りからくる配船の非効率で例年より高く推移すると思われます。ですが中国の製造業は堅調な伸びを維持しており、マイナーバルクの荷動きは底堅いようにはみえますが、中国政府は需給のバランスの改善を掲げていることから、この点は注意が必要です。

以上のような状況において、地政学的リスク及び環境変動に対応した航路選定・バラスト航海短縮による効率的配船・海運市況変動リスクの低減に努め、新規契約に鋭意努力し、将来を見据えた事業展開を図ってまいります。

この結果、営業収益は2,473百万円(対前中間連結会計期間比△306百万円、11.0%減)、営業利益は54百万円(同△391百万円、87.8%減)、経常損失は△23百万円(前年同期は、448百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純利益は3百万円(同△364百万円、99.2%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ・外航海運業

支配船舶による北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミの輸送を行い、運航採算の向上に努めるとともに一部支配船舶の短期貸船により、安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前中間連結会計期間に比べ貨物輸送から短期貸船への比率が高まり、新造船竣工までの期間において稼働隻数が減少し、マーケットが低調に推移した結果、1,922百万円(対前中間連結会計期間比△298百万円、13.4%減)となりました。また、営業費用は、外部からの短期用船による借船料の増加や一部の船舶において中間検査に伴い船費の増加により全体として増加しました。この結果、215百万円の営業利益(同△422百万円、66.2%減)となりました。

#### ・内航海運業

定期用船1隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船2隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。また船員を他社へ融通し派遣業収入を得ました。

船員を他社へ融通し派遣業収入が増加したものの、一部の船舶において定期貸船が終了した影響で、営業収益は489百万円(対前中間連結会計期間比△12百万円、2.4%減)となりました。営業費用は、一部の船舶において定期借船が終了した影響で全体として減少した結果、59百万円の営業利益(同5百万円、10.4%増)となりました。

#### ・不動産賃貸業

不動産賃貸業は、堅調に推移し営業収益は、61百万円(対前中間連結会計期間比3百万円、6.5%増)、営業利益は、20百万円(同10百万円、99.9%増)となりました。

(注) 営業利益は配賦不能営業費用(240百万円)控除前のものです。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ769百万円増加し、13,417百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより1,746百万円減少し、固定資産が主に船舶の増加などにより2,515百万円増加したことによるものです。負債は4,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ832百万円の増加となりました。これは、流動負債が主に1年内返済予定の長期借入金や海運業未払金の増加などにより72百万円増加し、固定負債が、長期借入金の増加などで759百万円増加したことによるものです。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益3百万円、剰余金の配当154百万円などにより株主資本の減少151百万円、その他有価証券評価差額金の増加によるその他の包括利益累計額合計の増加86百万円などにより、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、9,243百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、営業活動の結果得られた資金360百万円、投資活動の結果使用した資金2,687百万円、財務活動の結果得られた資金655百万円などを加減算した結果、前連結会計年度末に比べ1,723百万円減少し、2,462百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、360百万円(前中間連結会計期間は48百万円の支出)です。これは、税金等調整前中間純損失17百万円に、減価償却費357百万円などの非資金費用の調整などがあり、棚卸資産の減少額64百万円、仕入債務の増加額62百万円などの増加項目、契約負債の減少額115百万円、その他の資産の増加額50百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、2,687百万円(前中間連結会計期間比2,678百万円の支出増)です。これは、主に有形固定資産の取得による支出2,756百万円などによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果得られた資金は、655百万円(前中間連結会計期間は332百万円の支出)です。これは、主に長期借入れによる収入930百万円や配当金の支払額153百万円などの結果によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降における業績の見直しを行った結果、2025年5月15日付当社「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社はこれまで「変動の激しい海運市況に備えるため、また今後の船舶建造等施策に備えるため、財務体質の安定を勘案しながら、各事業年度の業績に応じた利益還元として配当の維持と継続を実施すべき」との認識のもと、本中期経営計画期間においては配当性向20%以上を目標として参りました。しかしながら、昨今の資本市場からの要請や、株主の皆様との対話を通じて頂いた貴重なご意見を真摯に受け止め、株主還元の一層の充実と当社の持続的な企業価値向上の双方を実現するため、現在、配当方針の抜本的な見直しを検討しております。新たな配当方針につきましては、決定次第、現在未定としております配当予想と併せて速やかに公表いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,185,775	2,462,474
海運業未収金及び契約資産	156,308	153,033
貯蔵品	365,962	301,560
その他流動資産	178,035	222,474
流動資産合計	4,886,082	3,139,543
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	4,516,220	8,488,748
建物(純額)	157,734	153,408
器具及び備品(純額)	8,667	11,567
土地	167,363	167,363
建設仮勘定	1,577,022	—
その他有形固定資産(純額)	12,745	19,726
有形固定資産合計	6,439,753	8,840,813
無形固定資産	8,019	7,111
投資その他の資産		
投資有価証券	1,126,569	1,240,035
退職給付に係る資産	90,726	93,724
繰延税金資産	18,177	18,812
その他長期資産	78,528	77,020
投資その他の資産合計	1,314,002	1,429,593
固定資産合計	7,761,775	10,277,518
資産合計	12,647,857	13,417,061

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	214,990	277,560
1年内返済予定の長期借入金	206,226	312,351
未払法人税等	29,227	27,674
契約負債	281,858	165,911
賞与引当金	34,093	33,663
その他流動負債	67,973	90,110
流動負債合計	834,368	907,271
固定負債		
長期借入金	1,307,189	2,011,263
繰延税金負債	908,718	902,797
特別修繕引当金	98,340	147,952
退職給付に係る負債	72,401	80,478
資産除去債務	14,763	14,763
その他固定負債	105,160	108,706
固定負債合計	2,506,573	3,265,961
負債合計	3,340,942	4,173,233
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	373,529	373,529
利益剰余金	7,685,445	7,534,051
自己株式	△2,312	△2,377
株主資本合計	8,758,662	8,607,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	505,020	591,930
その他の包括利益累計額合計	505,020	591,930
非支配株主持分	43,232	44,694
純資産合計	9,306,914	9,243,828
負債純資産合計	12,647,857	13,417,061

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
海運業収益	2,723,275	2,412,732
海運業費用	2,024,098	2,130,591
海運業利益	699,177	282,140
その他事業収益	57,374	61,104
その他事業費用	26,016	21,597
その他事業利益	31,357	39,507
営業総利益	730,534	321,647
一般管理費	284,625	267,119
営業利益	445,909	54,528
営業外収益		
受取利息	1,226	3,533
受取配当金	20,812	22,508
その他営業外収益	22,873	6,376
営業外収益合計	44,912	32,418
営業外費用		
支払利息	15,608	12,487
為替差損	16,076	62,392
燃料油売却損	7,259	34,209
その他営業外費用	3,240	1,103
営業外費用合計	42,185	110,193
経常利益又は経常損失(△)	448,636	△23,245
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51,106
特別利益合計	—	51,106
特別損失		
投資有価証券売却損	—	131
ゴルフ会員権売却損	2,744	—
アドバイザー費用	—	44,979
特別損失合計	2,744	45,111
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	445,892	△17,251
法人税、住民税及び事業税	69,579	27,268
法人税等調整額	8,422	△48,259
法人税等合計	78,002	△20,991
中間純利益	367,889	3,739
非支配株主に帰属する中間純利益	509	721
親会社株主に帰属する中間純利益	367,380	3,018



## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	367,889	3,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,252	87,935
その他の包括利益合計	△28,252	87,935
中間包括利益	339,637	91,675
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	341,618	89,928
非支配株主に係る中間包括利益	△1,980	1,746

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	445,892	△17,251
減価償却費	408,467	357,687
賞与引当金の増減額(△は減少)	△253	△430
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,720	5,079
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△209,432	49,612
受取利息及び受取配当金	△22,038	△26,042
支払利息	15,608	12,487
為替差損益(△は益)	13,104	51,841
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△50,974
ゴルフ会員権売却損	2,744	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△134,934	3,274
棚卸資産の増減額(△は増加)	37,087	64,401
その他の資産の増減額(△は増加)	△705,424	△50,075
仕入債務の増減額(△は減少)	130,563	62,570
契約負債の増減額(△は減少)	156,509	△115,946
その他の負債の増減額(△は減少)	△81,996	21,916
その他	7,258	180
小計	66,879	368,331
利息及び配当金の受取額	22,038	24,272
利息の支払額	△15,453	△9,747
法人税等の支払額	△122,093	△22,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,629	360,695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,595	△2,756,148
投資有価証券の売却による収入	—	67,147
貸付金の回収による収入	1,560	1,600
その他	2,054	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,981	△2,687,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	930,000
長期借入金の返済による支出	△175,712	△119,800
配当金の支払額	△153,565	△153,523
非支配株主への配当金の支払額	△58	△58
その他	△3,360	△1,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,696	655,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,104	△51,841
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△403,411	△1,723,301
現金及び現金同等物の期首残高	2,528,061	4,185,775
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,124,649	2,462,474

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	2,221,263	502,012	—	2,723,275	—	2,723,275
その他の収益	—	—	57,374	57,374	—	57,374
外部顧客への営業収益	2,221,263	502,012	57,374	2,780,650	—	2,780,650
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,221,263	502,012	57,374	2,780,650	—	2,780,650
セグメント利益	638,183	53,617	10,084	701,886	△255,976	445,909

(注) 1 セグメント利益の調整額△255,976千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	1,922,923	489,808	—	2,412,732	—	2,412,732
その他の収益	—	—	61,104	61,104	—	61,104
外部顧客への営業収益	1,922,923	489,808	61,104	2,473,836	—	2,473,836
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,922,923	489,808	61,104	2,473,836	—	2,473,836
セグメント利益	215,704	59,217	20,157	295,080	△240,551	54,528

(注) 1 セグメント利益の調整額△240,551千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。